

# PORTABLE RADIO COMMUNICATION EQUIPMENT

**Publication number:** JP11008874 (A)

**Publication date:** 1999-01-12

**Inventor(s):** OKUYAMA ICHIRO +

**Applicant(s):** SAAJI STUDIO KK +

**Classification:**

- international: H04B7/26; H04M11/00; H04Q7/16; H04B7/26; H04M11/00; H04Q7/16;  
(IPC1-7): H04B7/26; H04M11/00; H04Q7/16

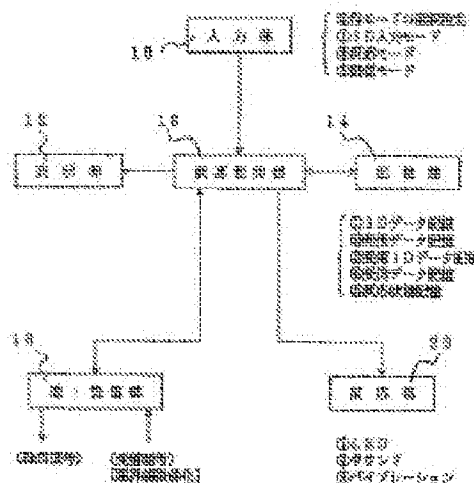
- European:

**Application number:** JP19980123575 19980506

**Priority number(s):** JP19980123575 19980506

## Abstract of JP 11008874 (A)

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a chance that many unspecified persons execute communication one another. **SOLUTION:** An input part 10 selects and sets various operation modes and inputs data being a reference object. A transmission/reception part 16 emits a necessary signal and receives a signal emitted from the other radio communication terminal units in accordance with the operation mode which is selected and set. A storage part 14 stores data on the various operation modes which are selected and set and received data. A user displays data being the reference object, which are collected from the other terminal unit, on a display part 12 so as to read it.



Data supplied from the *espacenet* database — Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-8874

(43) 公開日 平成11年(1999) 1月12日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	F I
H 0 4 Q 7/16		H 0 4 B 7/26 1 0 3 K
H 0 4 B 7/26		H 0 4 M 11/00 3 0 2
H 0 4 M 11/00	3 0 2	H 0 4 B 7/26 E

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

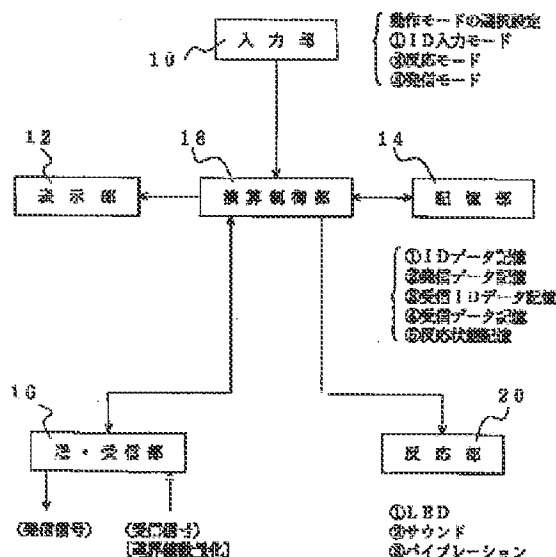
(21) 出願番号 特願平10-123575  
(62) 分割の表示 特願平7-51459の分割  
(22) 出願日 平成7年(1995) 3月10日

(71) 出願人 595035784  
株式会社サージ・スタジオ  
神奈川県三浦郡葉山町堀内928-1  
(72) 発明者 奥山 一郎  
東京都世田谷区若林4-38-7の302  
(74) 代理人 弁理士 澤田 俊夫

(54) 【発明の名称】 携帯型無線通信装置

(57) 【要約】

【課題】 不特定多数の人が交流する機会を提供する。  
【解決手段】 入力部10は各種動作モードを選択設定し、閲覧対象データを入力する。送・受信部16は選択設定された動作モードに従って所要信号を発信すると共に他の無線通信端末機器より発信される信号を受信する。記憶部14は選択設定される各種動作モードに関するデータおよび受信データを記憶する。ユーザは他の端末機器から収集した閲覧対象データを表示部12に表示させ閲覧する。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 閲覧対象データを入力する入力手段と、無線通信可能な範囲内にあり、動作状態になっている他の携帯型無線通信装置に、上記閲覧対象データを送信する手段と、上記他の携帯型無線通信装置から送信された閲覧対象データを受信する手段と、上記受信した閲覧対象データを記憶する記憶手段と、上記記憶手段から上記閲覧対象データを取り出して表示する表示手段とを有することを特徴とする携帯型無線通信装置。

【請求項2】 大きさをカードサイズとした請求項1記載の携帯型無線通信装置。

【請求項3】 上記表示手段は液晶表示器を含む請求項1または2記載の携帯型無線通信装置。

【請求項4】 上記入力手段は入力用の操作部を有し、上記操作部および上記液晶表示器が同一の操作面に形成される請求項3記載の携帯型無線通信装置。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、無線送受信機能を備えたICカード等からなる無線通信装置に関し、とくに、これら携帯型無線通信装置相互の間において、閲覧対象データをやりとりして他の携帯型無線通信装置からの閲覧対象データを蓄積し表示できるようにしたものである。

**【0002】**

【従来の技術】今日、無線受信機能を備えた携帯形通信端末を使用して、電話機より特定の前記通信端末を呼出すように構成した個人呼出無線通信システム（ページング・システム）が普及し、広く実施されている。そして、ページング・システムでは文字データを送ることができるようになってきているものもある。

【0003】この種の無線通信システムにおいては、特定の端末を保持している個人を呼び出したり、文字データを伝送するものであり、ビジネス上、有益なものである。

**【0004】**

【発明が解決しようとする課題】ところで、特定の個人を呼び出すのではなく、とりあえず、不特定多数の人の間で、閲覧対象データをやり取りし、不特定多数の人の間で交流の機会を提供することも有益である。本発明は、不特定多数の人の間で閲覧対象データをやり取りし、やり取りしたデータを受信時あるいは事後的に閲覧するシステムを提供しようとするものである。

**【0005】**

【課題を解決するための手段】本発明によれば、上述の目的を達成するために、携帯型無線通信装置に、閲覧対象データを入力する入力手段と、無線通信可能な範囲内にあり、動作状態になっている他の携帯型無線通信装置

に、上記閲覧対象データを送信する手段と、上記他の携帯型無線通信装置から送信された閲覧対象データを受信する手段と、上記受信した閲覧対象データを記憶する記憶手段と、上記記憶手段から上記閲覧対象データを取り出して表示する表示手段とを設けるようにしている。

【0006】この構成においては、不特定多数の人との間で閲覧対象データを送受信して蓄積し、その内容を閲覧することができ、携帯型無線通信装置の所有者同士に出会いのチャンスを提供することができる。

**【0007】**

【発明の実施の態様】次に、本発明に係る携帯型個人呼出無線通信装置の実施例につき、添付図面を参照しながら以下詳細に説明する。

【0008】図1は、本発明に係る携帯型個人呼出無線通信装置の概略システム構成図である。本発明においては、カード形無線通信端末機器を使用して実施するものであり、例えば無線送受信機能を備えたICカードによって容易に製作することができる。従って、この無線通信端末機器には、図1に示すような各種の機能手段を搭載する。

【0009】すなわち、図1において、参照符号10は各種動作モードを選択設定する入力部、12は前記選択設定される動作モードの内容および各種データの表示をする表示部、14は前記選択設定される各種動作モードに関するデータおよび受信データを記憶する記憶部、16は選択設定された動作モードに従って所要信号を発信すると共に他の無線通信端末機器より発信される信号を受信し、同調して所要データの交換を行う送・受信部、18は選択設定された動作モードに従って送・受信されたデータの照合を行い、最も適合性の高い無線通信端末機器との相互間においてチャネリング信号を発生する演算制御部、20は前記チャネリング信号に基づいて視聴覚反応動作を行う反応部をそれぞれ示す。

【0010】次に、前記各部の機能について詳細に説明する。

**【0011】（1）入力部10**

入力部は、各種動作モードを選択設定するものであり、例えばID入力モード（所有者個人の性別、生年月日、血液型、趣味等のIDデータを入力するモード）、反応モード（反応部20における視聴覚動作の種別を選択するモード）、発信モード（所有者のチャネリング相手の選択を行うモードであり、例えば相性や占い、趣味等のデータベースの選択を行う）、その他所有者のコメントを発信するモード、各種情報を収集するモードや情報を閲覧するモード等である。

【0012】これらの各種動作モードを選択設定する手段としては、例えば図2に示すように構成したカード形無線通信端末機器30を使用して操作することができる。すなわち、図2に示すカード形無線通信端末機器30は、無線送受信機能を備えたICカードからなり、内

部に送・受信装置32を内蔵すると共に、外装のパネル表面には、表示放電管ないしは液晶表示器等からなる表示器34を備えると共に、決定・キャンセル押釦スイッチ36と、5個のメッセージ押釦スイッチ38a、38b、38c、38d、38eとがそれぞれ設けられており、前記各メッセージ押釦スイッチ38a-38eの組合わせ操作と決定・キャンセル押釦スイッチ36の操作とにより、それぞれ所望の動作モードを選択設定することが可能である。この場合、表示器34によって、各動作モードの内容を確認しながら簡便に操作を行うことができる。

【0013】(2)表示部12 前記動作モードの設定に際して、各種動作モードの内容を表示すると共に、他のカード形無線通信端末機器との交信に際して、送・受信されるデータの内容を表示させ、その内容を簡便に確認することができる。また、この表示部は、他のカード形無線通信端末機器からの発信信号を受信する際、もしくは他のカード形無線通信端末機器とのチャネリングが行われる際に、所要の点滅動作を行って、それらの状態を容易に確認し得るように利用される。

【0014】(3)記憶部14 EEPROMからなりID入力モード、反応モード、発信モード、その他各種の情報に関するデータを記憶記憶すると共に、他のカード形無線通信端末機器からの受信データの記憶並びにそれらのデータの照合と適合性の判定を行うための演算制御プログラム等を記憶する。

【0015】(4)送・受信部16 選択設定された発信モードに従って、他のカード形無線通信端末機器に対して所定の探査電波を発信すると共に、これによりアクセスされた各カード形無線通信端末機器から前記発信モードに基づく所定のデータを受信収集し、これらのデータの照合と適合性の判定を行う。すなわち、この送・受信部の機能は、例えば図3に示すように、所定の探査電波を発信するカード形無線通信端末機器30Aは、所要の領域内において作動状態にある他の複数のカード形無線通信端末機器30B-30Eに対して、それぞれ送・受信装置32を介して順次アクセスし、これらカード形無線通信端末機器30B-30Eより所定のデータを受信収集する。この場合に、受信データは、表示部12に表示し得ると共に記憶部14に記憶される。そして、記憶されたデータは、順次照合と適合性の判定が行われ、最も適合性の高いカード形無線通信端末機器に対してチャネリング信号が発信される。

【0016】(5)演算制御部18 記憶部14に記憶された演算制御プログラムに従って、選択設定された発信モードにより送・受信部を介して受信された他のカード形無線通信端末機器からのデータを記憶部14に記憶させ、次いでこれらデータの照合と適合性の判定を行う。この結果、最も適合性の高いカード形無線通信端末機器に対してチャネリング信号を発生

し、送・受信部16を介して所定のチャネリング信号を発信させる。

【0017】(6)反応部20

前記演算制御部18で発生するチャネリング信号に基づいて、カード形無線通信端末機器が外部に対して視聴覚的に作用するものである。例えば、LED（発光ダイオード）による点滅動作、あるいはサウンドもしくはバイブレーションによる反応動作を起生させることができる。この場合、反応動作する受信側端末機器においては、発信側端末機器のデータを受信してこれを記憶させ、そしてその内容を確認し、必要に応じてチャネリングを解除することができる。この場合、発信側端末機器は、再び同一の受信側端末機器に対してチャネリングすることは回避される。

【0018】なお、送・受信部16の受信部においては、他のカード形無線通信端末機器の送・受信部16の発信部から発信された受信電波の強さを数値に変える機能を持たせ、これにより受信電波の強さ（端末機器相互の距離の接近状態）を前記各反応状態に反映させるように構成すれば、利用に便利である。

【0019】さらに、送・受信部16の機能としては、図3に示すような、所要の領域内におけるカード形無線通信端末機器の相互間のチャネリング方式に限らず、さらに拡大した通信方式によるチャネリング方式を採用することができることと勿論である。すなわち、図4に示すように、中継局40を設けて、この中継局40を介して所要の領域Ar1内と、他の領域Ar2内との相互における交信並びにチャネリングを達成することが可能である。また、図5に示すように、複数の中継局41、42を相互に回線接続して、これら中継局41、42間の交信を可能とすることにより、前記図4に示すチャネリング方式の領域をさらに拡大することができる。

【0020】以上、本発明の好適な実施例について説明したが、本発明は前記実施例に限定されることなく、本発明の精神を逸脱しない範囲内において多くの設計変更をすることができる。

【0021】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、携帯型無線通信装置の所有者同士の間で出会いのチャンスを作ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る携帯型個人呼出無線通信装置の一実施例を示す概略システム構成図である。

【図2】 本発明に係る携帯型個人呼出無線通信装置に使用する無線送受信機能を備えたカード形無線通信端末機器の一実施例を示す概略平面図である。

【図3】 本発明に係る携帯型個人呼出無線通信装置の動作状態を示す説明図である。

【図4】 本発明に係る携帯型個人呼出無線通信装置の交信領域を示す説明図である。

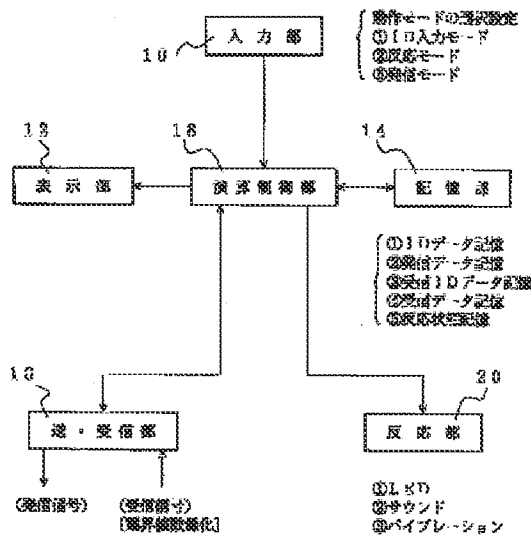
【図5】 本発明に係る携帯型個人呼出無線通信装置の  
交信領域の変形例を示す説明図である。

【符号の説明】

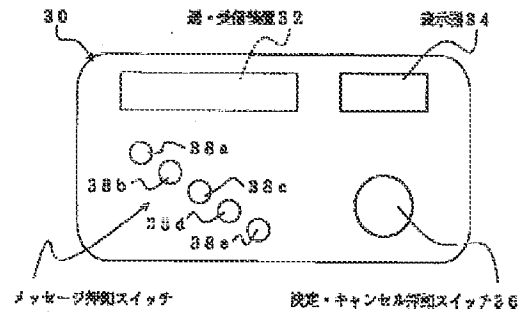
10 入力部  
12 表示部  
14 記憶部  
16 演算制御部  
18 送・受信部

20 反応部  
30 カード形無線通信端末機器  
30A-30E カード形無線通信端末機器  
32 送・受信装置  
34 表示器  
36 決定・キャンセル押釦スイッチ  
38a-38e メッセージ押釦スイッチ  
40、41、42 中継局

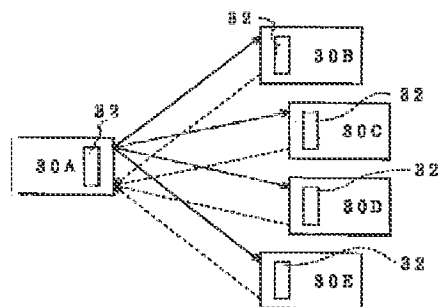
【図1】



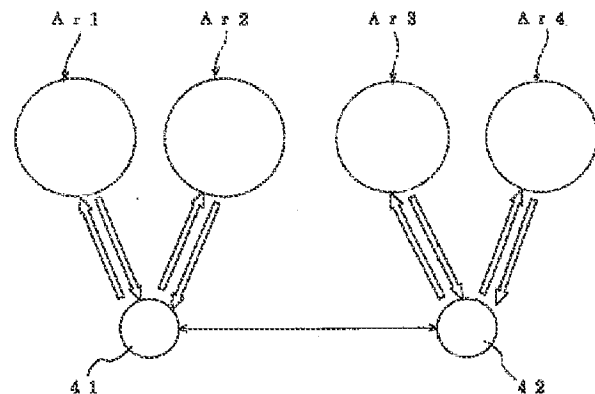
【図2】



【図3】



【図5】



【図4】

